

Title	はじめに
Author(s)	池本, 幸生
Citation	重点領域研究総合的地域研究成果報告書シリーズ：総合的地域研究の手法確立：世界と地域の共存のパラダイムを求めて (1996), 30
Issue Date	1996-11-30
URL	<a href="http://hdl.handle.net/2433/187681">http://hdl.handle.net/2433/187681</a>
Right	
Type	Journal Article
Textversion	publisher

## はじめに

東南アジア研究は海域世界の研究が進んでいるが、東南アジア世界はそれだけではない。今では貧困地域と見なされるコラート高原（タイ東北部）においても、かつてはバンチェン遺跡や多くのクメール遺跡が示すように文明の栄えた「先進地域」であった。このような現象はアジアの他の地域でも見られる。例えば、上ビルマ、中部ベトナム、東部ジャワなどである。これらの地域はドライゾーンという共通の特徴を持っており、これらの地域を比較することによってドライゾーンの「固有の発展論理」を探ることが本研究の課題であった。本研究の成果については福井論文に手際よくまとめられているのでそちらを参照していただきたい。

本研究と並行して、日本学術振興会の拠点大学方式（タマサート・京都大学）による国学術交流事業においても、本研究会のメンバーである福井教授を中心に同様の研究が進められてきた。本報告書に収録された論文のうち最後の2本を除いて、1996年10月21-23日に京都で開催された拠点事業のワークショップで発表されたものである。多くは本研究会のメンバーではないが、ここに収録することを承諾していただいたことに謝意を表したい。なお、このワークショップの成果については最終的には学術振興会の方から出版される予定であるので、そちらの方も参照していただけると幸いである。

なお、編者自身の論文がここにはないのは本報告書シリーズ No. 31 にまとめているためである。また、永田好克氏の NETVIS (the Northeast Thailand Village Information System) に関する研究も本報告書シリーズ No. 32 として書かれているので、これらの報告書も合わせて参照いただければ幸いである。

編者